



INNO
VATION 30

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年8月7日

株式会社 **ミマキエンジニアリング**
(証券コード：6638) 東証プライム市場

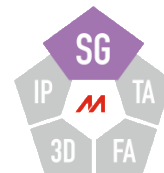
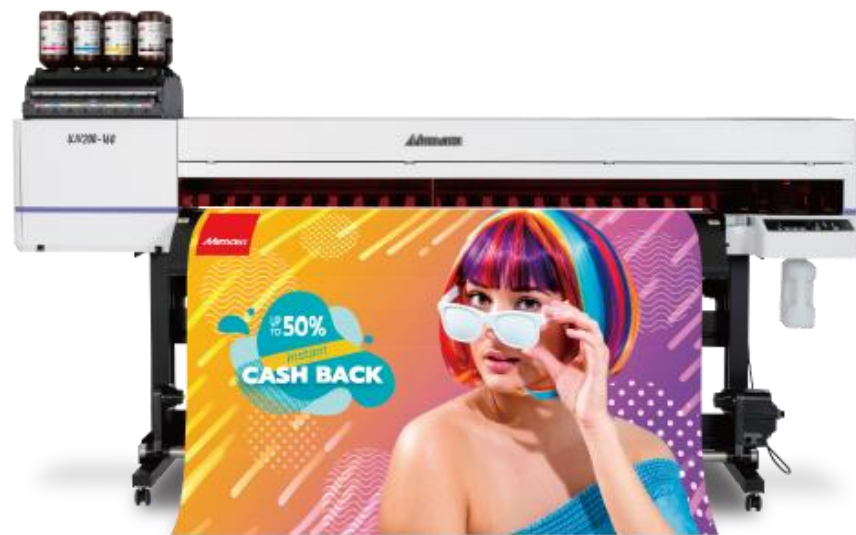
2027年3月期 連結業績

1. 第1四半期 実績

2. 上期・通期予想

3. APPENDIX

NEW



UJV200 series

当社フラグシッププリンタに搭載される「330エンジン」プリントヘッドをシングル搭載。操作経験が少ないオペレーターでも美しく・速く・簡単にプリント成果物を制作することができるRoll to Roll UVインクジェットプリンタ
* 2026年4月リリース

連結業績ハイライト① (2027年3月期 1Q実績)



売上高

20,052百万円

前年同期比 +3.3%

営業利益

2,351百万円

前年同期比 +21.6%

営業利益率 11.7%

経常利益

2,282百万円

前年同期比 +24.4%

経常利益率 11.4%

四半期純利益*

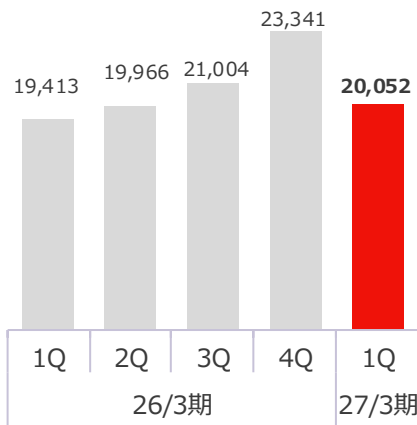
1,621百万円

前年同期比 +22.7%

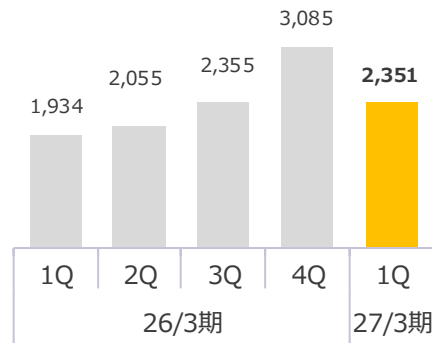
当期純利益率 8.1%

*親会社株主に帰属する四半期純利益

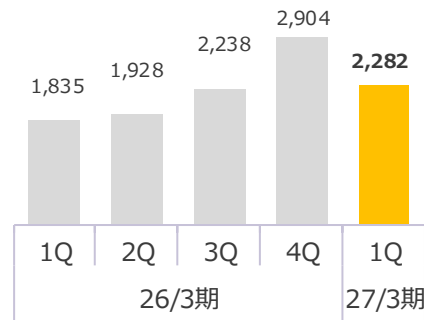
売上高



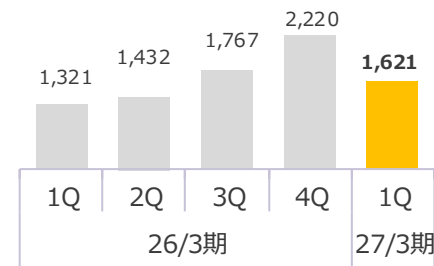
営業利益



経常利益



四半期純利益*



連結業績ハイライト② (2027年3月期 1Q実績)



2026年3月期			2027年3月期				
(単位：百万円)	1Q実績	構成比率	1Q実績	構成比率	前年同期比増減		
					金額	率	率(除為替)
売上高	19,413	—	20,052	—	+639	+3.3%	-4.8%
営業利益	1,934	10.0%	2,351	11.7%	+416	+21.6%	-11.7%
経常利益	1,835	9.5%	2,282	11.4%	+447	+24.4%	—
四半期純利益*	1,321	6.8%	1,621	8.1%	+300	+22.7%	—
為替レート (期中平均)	米ドル	144.60円	159.49円	—	+14.89円	+10.3%	—
	ユーロ	163.81円	185.38円	—	+21.57円	+13.2%	—

*親会社株主に帰属する四半期純利益

- 売上高は、前年同期比 639百万円の増収（+3.3%、内為替影響 +1,572百万円）、予想比下振れ
インクは各市場ともに大きく伸長。SG向けのハイブリッドモデルをはじめ、新製品の販売が好調に推移と為替のプラス効果により前年同期を上回り増収
- 営業利益は、前年同期比 416百万円の増益（+21.6%、内為替影響 +643百万円）、予想比上振れ
為替も寄与。販管費は、積極的な営業活動や人件費、研究開発費等は計画どおりに執行
売上原価は、インク・プリンタ本体のプロダクトミックスの改善や原価低減活動の効果で改善。営業利益率は11.7%（1.7pt改善）
- 1Q末バランスシート…重点指標CCC*は、主に新製品販売拡大に向けた安定供給体制強化により在庫が増加
（2025.3末：4.28月 →2026.3末：4.67月 →2026.6末：5.48月）

*CCC:CashConversionCycle

営業利益増減要因 (26/3期 1Q vs 27/3期 1Q)

■ 売上・原価・営業利益への為替影響

売上高 1,572 - 売上原価 489 - 販管費 439 = 営業利益 643

【通貨別影響額】

USD／	144.60円	→	159.49円	+312
EUR／	163.81円	→	185.38円	+284
CNY／	19.99円	→	23.43円	-120
BRL／	25.53円	→	31.59円	+74
AUD／	92.58円	→	113.16円	+57
その他 (THB、VND 等)				+35
合計				+643

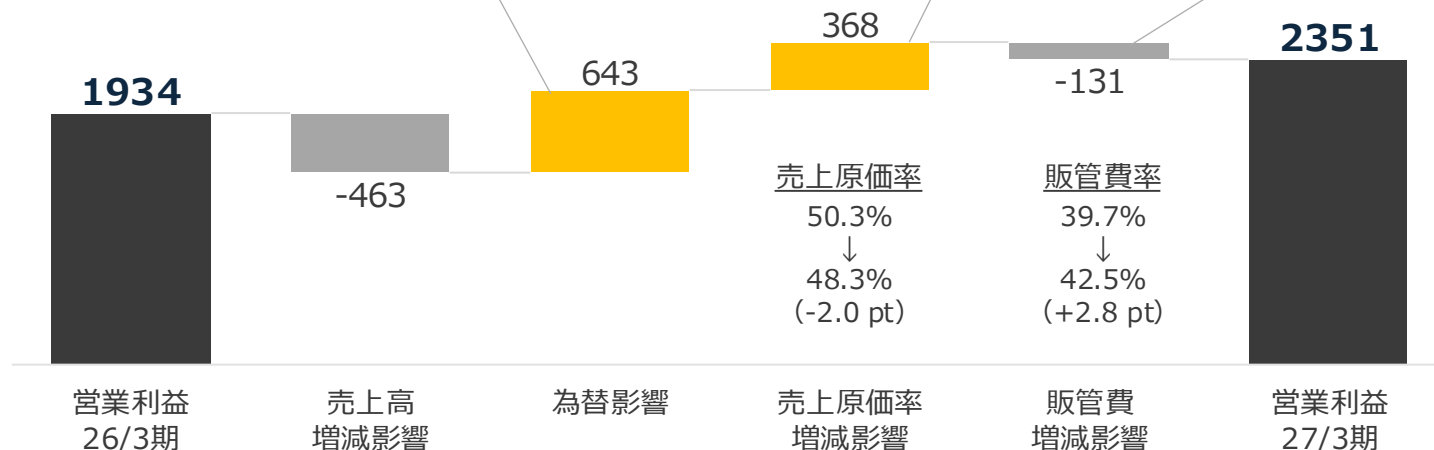
【売上原価率増減要因】

インク・本体のプロダクトミックス改善の他、
原価低減活動により高水準で改善

【販管費増減要因】

研究開発費	+324
製品補修費	-91
消耗品費	-52
その他	-49
合計	+131

(単位：百万円)



+4億16百万円

市場別売上高（2027年3月期 1Q実績）



	2026年3月期		2027年3月期				
	1Q実績	構成比率	1Q実績	前年同期比増減			構成比率
(単位：百万円)				金額	率	率(除為替)	
SG市場向け	8,207	42.3%	9,140	+933	+11.4%	+1.5%	45.6%
IP市場向け	4,809	24.8%	4,629	-180	-3.8%	-11.0%	23.1%
TA市場向け	2,138	11.0%	2,301	+163	+7.6%	-1.9%	11.5%
FA事業	1,028	5.3%	755	-272	-26.5%	-26.9%	3.7%
その他	3,229	16.6%	3,225	-3	-0.1%	—	16.1%
合 計	19,413	100.0%	20,052	+639	+3.3%	-4.8%	100.0%

- SG市場向け : プリント本体は、新製品のハイブリッドモデル立ち上がり好調、UVインク搭載モデルは新製品・既存製品ともに堅調に推移
インクは飛躍的に増加し、全体も2桁増収
- IP市場向け : インク堅調もプリント本体は、一部の小型FBモデルの販売は増加するも製品の端境期の影響を受け大きく減少し、全体は減収
- TA市場向け : プリント本体は、DTFモデルの販売が減少するも昇華転写モデルの一部の販売好調やインクが大きく伸長し、全体では増収
*DTF: Direct To Film
- FA事業 : 前年同期比において、基板検査装置や基板実装装置事業を中心に減少となり大幅な減収

エリア別売上高（2027年3月期 1Q実績）



2026年3月期			2027年3月期			
	1Q実績	構成比率	1Q実績	前年同期比増減		構成比率
(単位：百万円)				金額	率	
■ 日本	5,357	27.6%	5,214	-143	-2.7%	26.0%
■ 北米	4,125	21.2%	4,949	+824	+20.0%	24.7%
(現地通貨/ \$)	28.5M	—	31.0M	+2.4M	+8.7%	—
■ 欧州	4,294	22.1%	4,500	+206	+4.8%	22.4%
(現地通貨/ €)	26.1M	—	24.2M	-1.8M	-7.2%	—
■ アジア・オセアニア	3,448	17.8%	3,322	-125	-3.6%	16.6%
■ その他	2,188	11.3%	2,065	-122	-5.6%	10.3%
合 計	19,413	100.0%	20,052	+639	+3.3%	100.0%

- 日本： プリント本体は、SGは新製品の立ち上がり順調や前期より市場浸透が進む製品などが好調。IPは大判FB大幅増も減収。TAはDTF、昇華転写ともに減少。インクは、各市場ともに2桁増。全体では、FAの前年比で基板の検査装置・実装装置が大幅減を受け減収。FAを除いた売上は増収
- 北米： プリント本体は、SGはハイブリッドなど新製品が好調立ち上がり、TAは昇華転写の増やDTFの生産性高いモデルが増などSG・TAともに著しく増加。IPは減少。インクは、各市場ともに2桁増。全体も著しく増加し飛躍的な増収
- 欧州： 為替の円安によるプラス影響が寄与。プリント本体はSGのハイブリッドの新製品立ち上がりが順調も、IP・TAともに減少。インクはSG・TAが2桁増。IPも好調により全体では増収
- A・O： プリント本体は、SGハイブリッド好調もエコソルベント軟調により減少。IP・TAは大幅減少により本体大幅な減収。インクはSG大幅増もIP・TA減により減収。全体も減収

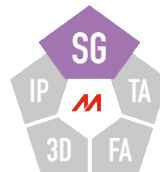
2027年3月期 連結業績

1. 第1四半期 実績

2. 上期・通期予想

3. APPENDIX

NEW



UJ330H-160

ロール素材への出力とリジッド（ボード）素材のダイレクトプリントを1台で実現するハイブリッドUVプリンタ

省スペース・設備投資の抑制を両立する「Next Standard」
サイン制作事業者や印刷会社をはじめとするグラフィック制作現場へ提案

* 2026年3月リリース

連結業績予想ハイライト（2027年3月期）



■ 前回予想（5月13日公表）より変更なし

2026年3月期			2027年3月期									
			上期予想	前回予想比 増減額	下期予想	前回予想比 増減額	通期予想	構成 比率	金額	前期比増減 率	率（除為替）	前回予想比 増減額
（単位：百万円）												
売上高	83,725	－	43,200	±0	47,800	±0	91,000	－	+7,274	+8.7%	+9.4%	±0
営業利益	9,431	11.3%	4,000	±0	5,500	±0	9,500	10.4%	+68	+0.7%	+5.3%	±0
経常利益	8,907	10.6%	3,600	±0	5,000	±0	8,600	9.5%	-307	-3.5%	－	±0
当期期純利益*	6,741	8.1%	2,500	±0	3,600	±0	6,100	6.7%	-641	-9.5%	－	±0
為替レート	米ドル 150.78円	－	152.75円	+6.75円	146.00円	±0.00円	149.37円	－	-1.41円	-0.9%	－	+3.37円
（期中平均）	ユーロ 174.79円	－	177.69円	+7.69円	170.00円	±0.00円	173.85円	－	-0.95円	-0.5%	－	+3.85円

*親会社株主に帰属する当期純利益

連結業績予想の前提

1 Qは計画を上回り進捗し足元の販売動向も堅調に推移。一方で、中東情勢の緊迫化をはじめとする地政学リスクや為替前提など不透明要素があることから、上期・通期ともに期初計画を据え置き（変更なし）

- ・売上高・・・産業用インクジェットプリンタの市場環境はグローバルで変化はなく需要は堅調と想定。SG新製品の牽引や下期に市場投入予定の新製品の着実な立ち上げと新規チャネルの開拓による販売拡大を見据えた積極的な営業活動を継続
- ・営業利益・・・販管費は、将来成長への積極投資をしつつ、プロダクトミックスの改善や原価低減活動を継続
- ・2Q以降の為替レート前提：USD:146円/EUR:170円（期初計画から変更なし）

中東等情勢：インク等の原材料は適切な確保により安定した供給体制を維持しており生産への影響は生じていない。動向は引き続き注視

米国の関税還付：時期及び額について、不確定要素が多いことから未反映

営業利益増減要因 (26/3期 実績 vs 27/3期 予想)



- 為替感応度 (1円/年) : USD 売上高 179百万円、営業利益 92百万円
EUR 売上高 130百万円、営業利益 76百万円

■ 売上・原価・営業利益への為替影響

売上高 -606 + 売上原価 25 + 販管費 145 = 営業利益 -435

【通貨別影響額】

USD/	150.78円	→	149.37円	-129
EUR/	174.79円	→	173.85円	-72
CNY/	21.25円	→	21.61円	-33
BRL/	27.76円	→	26.27円	-105
THB/	4.68円	→	4.53円	-39
その他 (TRY、INR 等)				-54
			合計	-435

為替感応度 (1円/年)

	売上高	営業利益
USD	179	92
EUR	130	76

【売上原価率増減要因】

インクと本体モデルの切り替え等によるプロダクトミックスの変化など、引き続き原価低減活動に取り組むことで原価改善を見込む

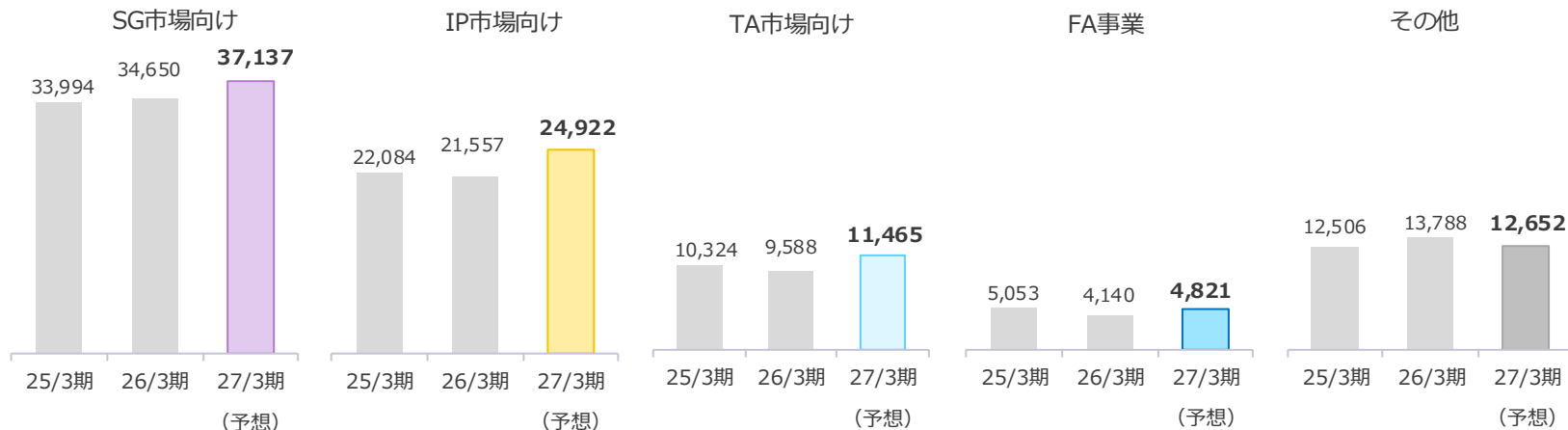
(単位 : 百万円)



市場別売上高予想 (2027年3月期)

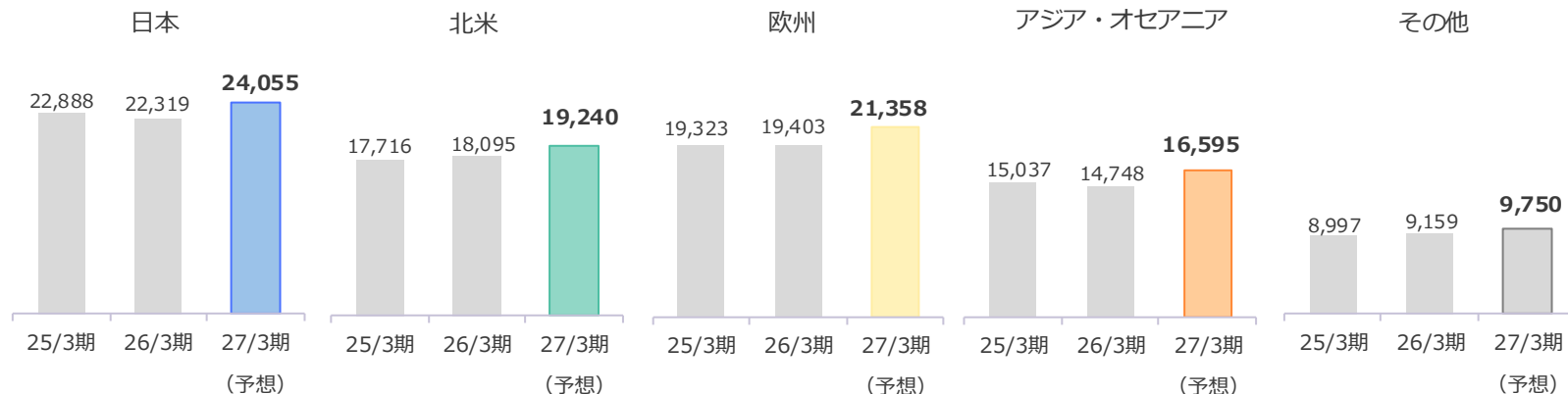


2026年3月期			2027年3月期									
	通期実績	構成比率	上期予想	前回予想比増減額	下期予想	前回予想比増減額	通期予想	前回予想比増減額	前期比増減			構成比率
(単位: 百万円)									金額	率	率 (除為替)	
SG市場向け	34,650	41.4%	18,091	±0	19,045	±0	37,137	±0	+2,486	+7.2%	+8.1%	40.8%
IP市場向け	21,557	25.7%	11,037	±0	13,885	±0	24,922	±0	+3,365	+15.6%	+16.2%	27.4%
TA市場向け	9,588	11.5%	5,383	±0	6,081	±0	11,465	±0	+1,877	+19.6%	+20.8%	12.6%
FA事業	4,140	4.9%	2,323	±0	2,497	±0	4,821	±0	+680	+16.4%	+16.4%	5.3%
その他	13,788	16.5%	6,363	±0	6,289	±0	12,652	±0	-1,136	-8.2%	-	13.9%
合 計	83,725	100.0%	43,200	±0	47,800	±0	91,000	±0	+7,274	+8.7%	+9.4%	100.0%



エリア別売上高予想（2027年3月期）

2026年3月期			2027年3月期								
(単位：百万円)	通期実績	構成比率	上期予想	前回予想比増減額	下期予想	前回予想比増減額	通期予想	前回予想比増減額	前期比増減		構成比率
									金額	率	
■ 日本	22,319	26.7%	11,628	±0	12,427	±0	24,055	±0	+1,736	+7.8%	26.4%
■ 北米	18,095	21.6%	9,110	±0	10,129	±0	19,240	±0	+1,144	+6.3%	21.1%
(現地通貨/ \$)	119.9M	-	59.5M	-2.8M	69.3M	±0.0M	128.8M	-2.8M	+8.9M	+7.5%	-
■ 欧州	19,403	23.2%	9,950	±0	11,407	±0	21,358	±0	+1,954	+10.1%	23.5%
(現地通貨/€)	110.6M	-	56.3M	-2.1M	67.1M	±0.0M	123.4M	-2.1M	+12.7M	+11.6%	-
■ アジア・オセアニア	14,748	17.6%	7,756	±0	8,839	±0	16,595	±0	+1,847	+12.5%	18.2%
■ その他	9,159	10.9%	4,753	±0	4,996	±0	9,750	±0	+591	+6.5%	10.7%
合計	83,725	100.0%	43,200	±0	47,800	±0	91,000	±0	+7,274	+8.7%	100.0%

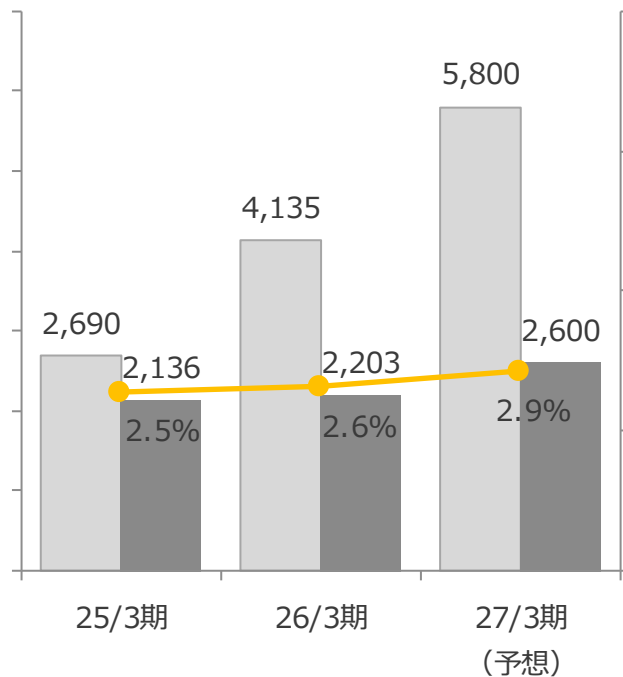


設備投資、減価償却、開発投資予想（2027年3月期）

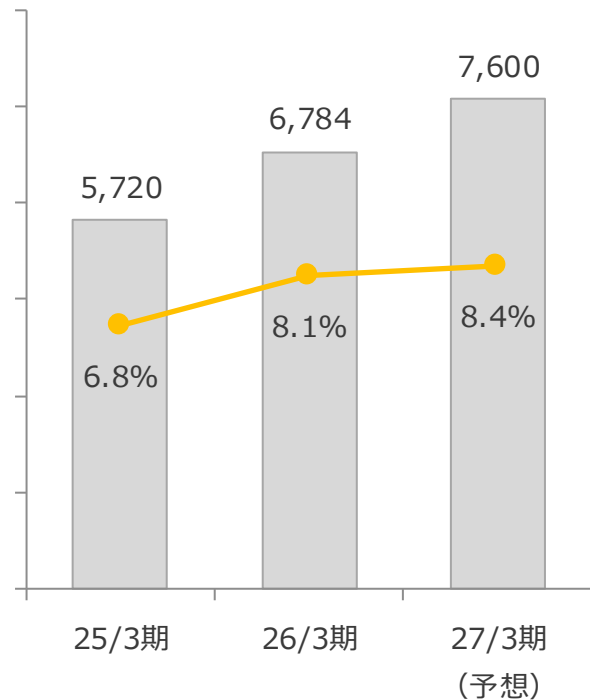


（単位：百万円）

■ 設備投資 ■ 減価償却費 ● 減価償却費対売上比率



■ 開発投資 ● 対売上比率



販管費における
「研究開発費」

26/3期 5,155百万円
27/3期 4,904百万円
(予想)

※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

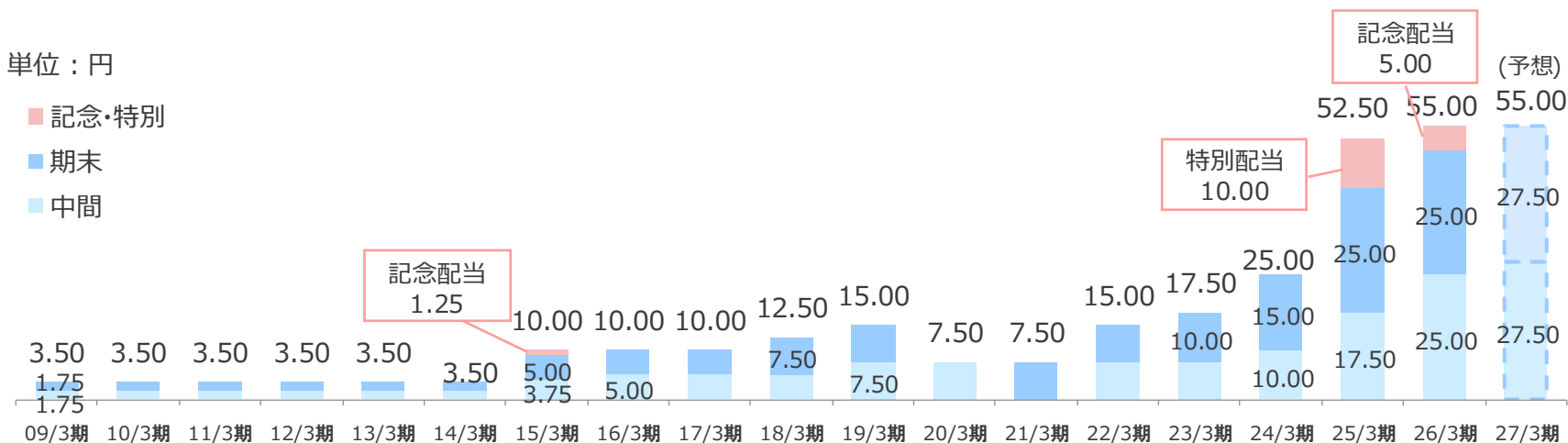
株主還元の方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

■ 2027年3月期(予想) 中間：27.5円、 期末：27.5円

今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、**年55.0円の予想**

単位：円



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています（分割前の配当金は遡及修正して表示）

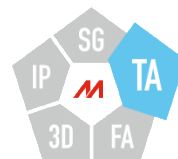
2027年3月期 連結業績

1. 第1四半期 実績

2. 上期・通期予想

3. APPENDIX

NEW



TS330-1600

ミマキエンジニアリングが20年以上にわたり蓄積してきた技術力を結集し、美しい画質と高い生産性に加え、省作業をアシストする高い付加価値機能を備えたフラグシップモデル。

* 2026年1月リリース

経営ビジョン

1

独自技術を保有し、
自社ブランド製品を
世界に供給する
「**開発型企业**」を
目指します

2

顧客に
満足いただける製品を
素早く提供する
小回りの利いた
会社を目指します

3

市場に常に
「**新しさの違い**」を
提供する
イノベーターを
目指します

4

各人が持っている
個性・能力を
力一杯発揮できる
企業風土を
目指します



商 号	株式会社ミマキエンジニアリング		
設 立	1975年8月	資 本 金	4,357百万円
本 社	長野県東御市滋野乙2182-3		
代 表 者	代表取締役社長 CEO 池田 和明		
従 業 員 数	連結：2,152名 単体：936名 ※2026年3月末現在		
上 場 市 場	東京証券取引所 プライム市場 / 証券コード 6638		
発行済株式総数	32,040,000株 （単元株=100株） ※2026年3月末現在		



INN
VATION 30

安定的な収益性で売上高成長の追求を継続し、資源の積極的な活用により
新たな領域にチャレンジすることで、

2030年3月期に売上高 **1,500億円** を目指す



詳細はウェブサイト
(2025年5月16日公表)
をご参照ください。

<https://ir.mimaki.com/about/mi30.html>



チャレンジ1

高粘度領域

粘度の低いインクから
粘度の高い塗料の分野へ



チャレンジ2

フレキシブル有機ELシート

インクジェット生産による
低コストな有機EL



※この画像は生成AIによって
作成されたイメージです

チャレンジ3

セカンドブランド

印刷の前後装置を提供し
顧客の“安心”を創出

チャレンジ4

3D事業の進化

様々な素材の3D印刷
実現で大きく広がる市場



3DUJ-553

様々な素材



Made in JAPAN
Made by Mimaki

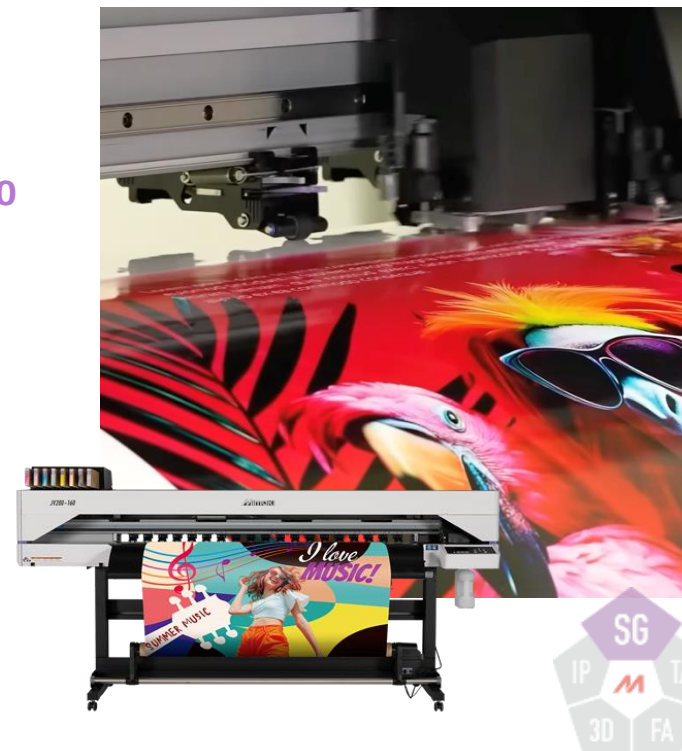
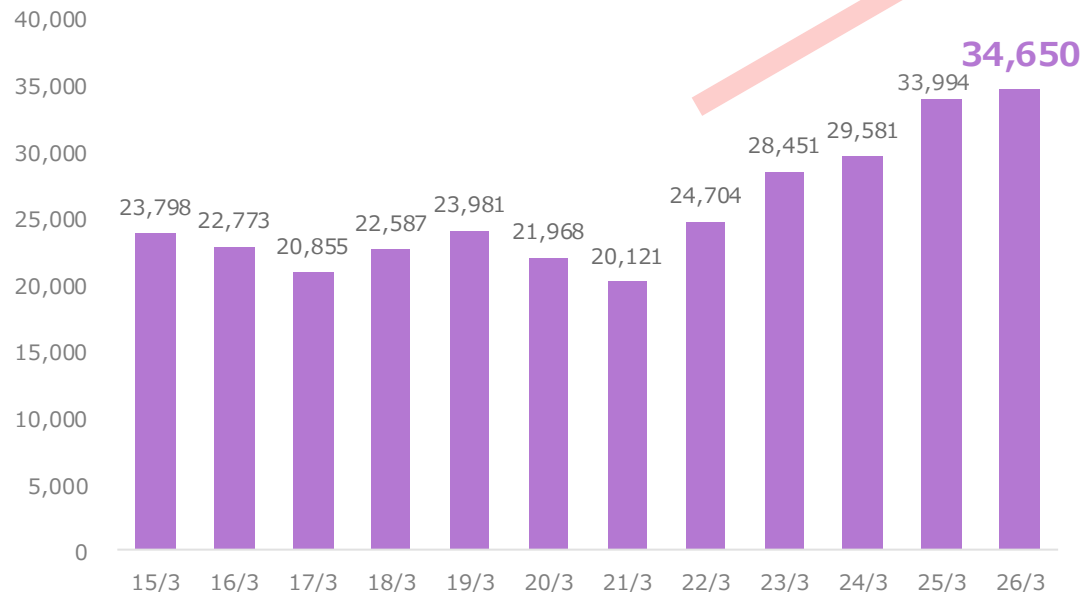
※MI30 : Mimaki Innovation 30

売上高推移

(単位：百万円)

■ SG売上高

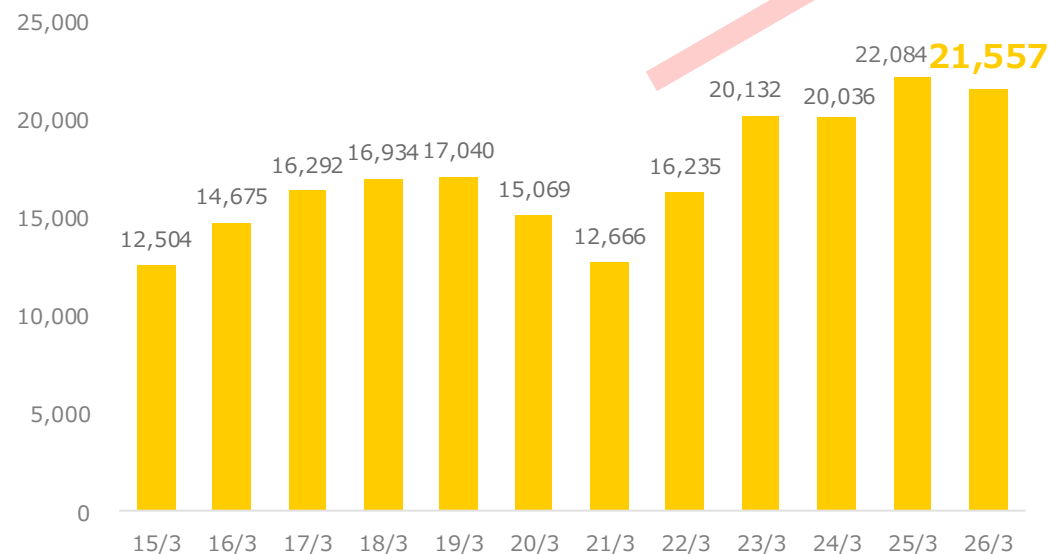
5年伸び率
140%



売上高推移

(単位：百万円)

■ IP売上高



000-42EC 30th Anniversary

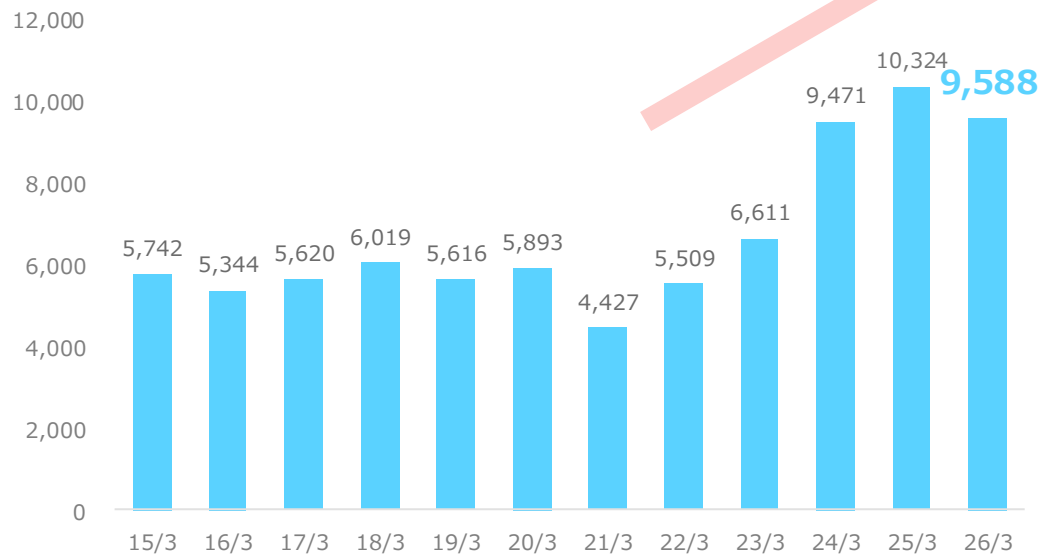
© C.F.MARTIN & CO.,INC.



売上高推移

(単位：百万円)

■ TA売上高



5年伸び率
174%



代表的な産業用インクの種類と特長



INNOVATION 30

溶剤：PVCアタック：前処理不要
ソルベントインク

紫外線で硬化：素材を選ばない
UV硬化インク

高温でガス化、ポリエステルに着色
水性昇華インク

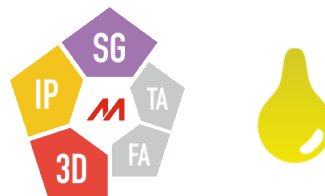


屋外耐候性

ソルベント（有機溶剤）がPVC※の表面を侵食し揮発、顔料が食い込むことで高い屋外耐光性/耐候性/耐擦過性を実現するインク

- 環境配慮型のインクで認証取得

対象素材：PVC※など

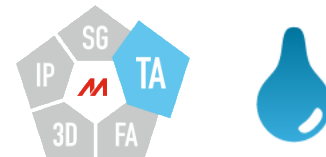


紫外線で即硬化

UV光（紫外線）を照射させることにより、硬化・定着するインク

- 乾燥時間が不要
- 様々な素材へ印刷

対象素材：樹脂、ガラス、金属など



水を使用しない染色

ポリエステル素材へのプリントを飛躍的に美しくする高濃度インク

- 紙転写 / ダイレクト印刷に対応
- 蛍光色にも対応し発色が鮮やか

対象素材：ポリエステル

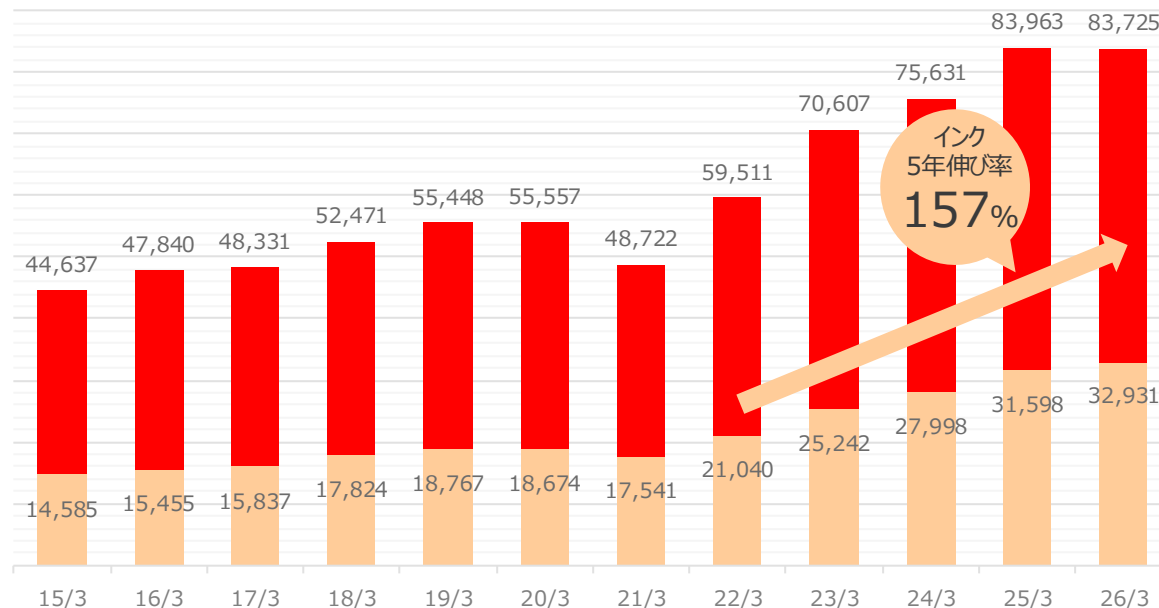


※PVC=ポリ塩化ビニール

売上高とインク売上高の推移

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ インク売上高



[紙製インクカートリッジ]



- インクの5年伸び率は157%と急増
- 稼働台数の増加に伴い、インクの売上高も増加
- TAプリンタ販売数増加、特にTシャツ用途で使用する白インクが伸長



ストックビジネスであるインクは、販売数量の増加に伴い、収益の安定化に貢献

持続可能な社会への貢献を、さらに効果的・効率的に推進すべくサステナビリティ方針とマテリアリティ※

※重要課題

当社グループのサステナビリティ方針

- 産業印刷のデジタル・オンデマンド化を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する
- 安心して成長・挑戦できる職場環境を提供し、地域社会の維持・発展に尽力する

マテリアリティ	関連するSDGs番号
既存・新規事業を通じた産業印刷のデジタル化 インクジェット×デジタル・オンデマンド印刷で、サステナブルなもののづくり イノベーションを通じたサステナビリティへの貢献 技術力で社会課題にソリューションを	      
グループ人財の活躍と地域社会の活性化 挑戦を貴び、安心して働ける職場作り 地域とともに歩み続ける地元企業として	      
責任あるサプライチェーンの実現 環境リスク等の予防・低減、製品の安定供給へ	     
企業成長に応じたガバナンスの徹底 テクノロジーや教育を活用し、経営管理体制・内部統制を強化	



IRメール配信
登録はこちら



本資料に関するお問合せ先



株式会社 ミマキエンジニアリング

I R 部

<https://ir.mimaki.com/>



〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点での入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをお知らせいたします。